

## LAMPIRAN

### Biografi Penulis

Yuki Midorikawa merupakan seorang penulis *manga* Jepang. Yuki Midorikawa dikenal karena karya-karya *shoujo manga*-nya dimajalah LaLa dan LaLa DX yang diterbitkan oleh *Hakusensha*. Yuki Midorikawa lahir pada tanggal 23 Mei tahun 1976 di prefektur Kumamoto. Yuki Midorikawa telah banyak melahirkan karya, salah satu karyanya yang paling sukses adalah *anime Natsume Yuujinchou* yang telah dibuat menjadi enam seri *anime* pada tahun 2008, 2009, 2011, 2012, 2016, dan 2017. *Natsume Yuujinchou Season 5* dipublikasikan pada tahun 2016. Kemudian, karena karyanya sangat sukses dan diminati banyak kalangan, juga karena alur cerita dan *genre* yang menarik serta tidak membosankan, maka *anime Natsume Yuujinchou* dituangkan kedalam film layar lebar. Adapun karya-karya lainnya dari Yuki Midorikawa, yaitu :

- 1) *Coffee Hirari* ( dipublikasi pada November 1998)
- 2) *Akaku Saku Koe* yang terdiri dari 3 *volume* (dipublikasi pada tahun 1998-2000)
- 3) *Hana oi Bito* (dipublikasi pada tahun 2001)
- 4) *Atsui Hibi* (dipublikasi pada tahun 2001)
- 5) *Hotarubi no Mori e* (dipublikasi pada Juli 2002)
- 6) *Kurukuru Ochiba* (dipublikasi pada November 2002)
- 7) *Hibi, Fukaku* (dipublikasi pada Januari 2003)
- 8) *Hanauta Nagaruru* (dipublikasi pada April 2003)
- 9) *Taion no Kakeru* (dipublikasi pada 2003)
- 10) *Moshi mo Mienai* (dipublikasi pada 2005)
- 11) *Natsume Yuujinchou* terdiri dari enam *series* yang dirilis pada tahun yang berbeda-beda (dipublikasi pada tahun 2008, 2009, 2011, 2012, 2016, dan 2017).
- 12) *Aizoban Hotarubi no Mori e* (dipublikasi pada September 2011)

Halaman	Data	Kalimat Pecakapan
50	1	<p>玲子 :ねえ あなた 女の子を見なかった ねえってば 体が大きいのに 団栗ばかり食べて るのね ねえ 人を探してるの 高いところか ら見れば分かるかと思っ ただけど、葉っぱばかりで難しいわ あなたの肩に乗せてくれないかしら 団栗よりおいしいものをあげるから</p> <p>ねえってば : なんだ 下賤な人の子か</p>
53	2	<p>玲 : すごい 本当に寝てるのね ねえってば : おい 待って 玲 : あった あったわ ありがとう じゃあ私 あの子に返してくるわね</p>
55	3	<p>女の子の妖怪: 私は何も知らないのです 人について は何も… 夏目様 人とはどれほど生きることが できますか。 あの人は生きていますでしょうか。 夏目 : ごめんな 分からないよ。</p>
57	4	<p>夏目 : 本当は俺の知り合いが貴方のお爺さんにとて もお世話になって 本人がとても会いたがっているんだけど こ こには来られなくて 奈々子: 来られないって… ひょっとして その方もご病気のの 祖父も入院 してるんです 入院って?</p>
59	5	<p>夏目 : 手紙 手紙… 何処だ まずい 駄目だ 見つからない</p>

		<p>ニャコ先生 : おい 夏目 先から何をしている</p>
61	6	<p>夏目 : 本当だ あまり物がない 名取 : 殺風景だろう ここは仕事用に 借りてる部屋で ほとんど寝に 帰るくらいなんだ 座ってて 夏目 : はい</p>
63	7	<p>多軌 : 今そこにいる妖だったのかしら やっぱり見えない 夏目 : ああいや 多軌 こっちだ そ れで ここで何をしてるんだ 旅兔 : 私はご覧の通り旅兔友人と二人で食って は寝 食っては寝の旅をしていたのだ</p>
65	8	<p>妖怪 : 不思議な術を使う不思議な小娘だ った 震えていたのに 助けてほしいと 言ったら 初めて人の目を見た それはとても …とても… とても… ニャコ先生 : おい 夏目 いつまでそんなのと 話してる さっさとウサ公を見つ けて帰るぞ</p>
67	9	<p>里美 : いいえ 夜は誰も そうかしら 五人だったかしら いいえ 六人よね 夏目 : やっぱり昨日の何かが客に紛れ込んでい るのかもしれない 田沼 : 客にって?</p>
69	10	<p>夏目 : すみません 心配かけて 塔子 : 改めて思うけど</p>

		<p>自分が風邪を引いた子の世話をしてるなんて 不思議な気分ね 今は余計なことは気にしないで お休みなさい</p> <p>夏目：はい</p>
72	11	<p>的場：俺はね 使えるものを探しに来た 周一さん ほら あの木の上 着物が引っかかっているのは見える？ あれ何色 名取：濃い赤だ 的場：へえー</p>
74	12	<p>的場：最近 有力な術師が何者かに襲われる事件が多発してしましてね 夏目：えっ 的場：的場としても捨て置けなくなり 調べてみると どうやら主犯は祓い屋の中にいるようなのです しかも少し厄介なことに その祓い屋はおそらく妖怪に操られている 祓い屋仲間から犯人を探す しかも妖怪に憑かれてる人間ってのは見破るのが難しく 苦戦してしましてね</p>
77	13	<p>夏目：広いですね 別邸って 一体いくつあるんです 的場：別邸と言っても 元は的場の傘下だった者の家が 途絶えたり 主がいなくなった者を使っ</p>

		ているんです
79	14	<p>ニャコ先生 : 壺に追い掛けられた</p> <p>夏目 : ああ ただ転がっている奴に出くわ          しただけかもしれないんだ</p> <p>けどさ</p> <p>ニャコ先生 : うまく撒いてしまえたのだから どう          せ大した奴ではあるまい</p> <p>夏目 : だといいけど</p>
81	15	<p>夏目 : ごめんな 先生</p> <p>ニャコ先生 : なぜ謝る</p> <p>夏目 : 分からないけど 先生達の中の玲          子さんは 笑って          いるから 先生には話したくなか          ったんだ</p> <p>ニャコ先生 : なんだそれは?</p>
83	16	<p>ねえってば : 団栗より美味しいものなどない</p> <p>玲子 : あら ごめんなさい 手伝ってくれた          んなら お饅頭ってい          うのを今度持ってきてあげるわ</p> <p>ねえってば : 私は怖くないのか</p> <p>玲子 : あなたに鳥が止まっているのを見たわ</p> <p>ねえってば : 鳥は好きだが 人間は好かん</p>
85	17	<p>的場 : 君は本当に便利だ</p> <p>夏目 : 護符? 刺青みたいだ 的場さんは名取さ          んのことをよく知って          るんですか</p> <p>的場 : 君よりは古い付き合いですよ</p>
87	18	<p>一つ目 : この妖者に襲われたのでございますか</p> <p>牛顔 : 下手くそ</p>

		<p>ヒノエ : ああ これは隣町の毛むくじゃら じゃないか ニャコ先 生 : 知ってるのか 丙 ヒ ノエ : ああ 厄介な奴らだよ ヒノエ : 集まると質が悪い</p>
89	19	<p>ニャコ先生 : 何処へだ 夏目 : 返しにだよ ニャ コ先生 : 面倒な 放っとけ 夏目 : そうもいかないだろう それに 取り返しに家に来られても困 るからな そうなる前に... もう来てる</p>
92	20	<p>塔子: あの鴉 この前の 尻尾がちょっと曲がってるのね 猫とでも戦ったのかしら やんち やんなのね 男の子かしら 知り合いになると 鴉も何だか可愛いものね おーい 私のこと覚えてる</p>